

「エコシティたかつ」学校流域プロジェクト 環境学習授業実施報告書

実施日時	2013年2月20日(水) 9:30~10:00
実施場所	橘小学校 特別教室
スタッフ	小林、岡本(TRネット)
実施対象	5年生 (約180名)
実施内容	ビオトープを活用した学習発表会への来賓者としての参加及び助言

1 発表会の趣旨

ビオトープを活用した授業の成果を学年全体で共有するとともに、お世話になった方々(TRネット、地域の農家の方(大川氏)、JAセレサの方)への報告及び御礼等をするために実施した。

2 内容

(1)はじめの挨拶

(2)代表児童による発表(内容は、平成24年度「エコシティたかつ」推進フォーラムで発表したもの)

①ビオトープの話しくモニターを使用して>

- ・エコシティたかつの取り組みについて
- ・高津区の自然が少なくなってきた→増やして、広めていきたい。

②橘小学校の取り組み <モニターを使用して>

- ・メダカの放流・生きもの調査、JAの方々とイネ植え収穫

(3)来賓(3名)からの感想

(4)TRネットによる質疑応答による助言

・【質問1】ビオトープを今後どのようにしていけば、よいか。どんな生きものがやってくるか。

⇒【回答】他学年の児童に、ビオトープには生きものが住んでいるから、石を投げたり、植物を抜いたりするのはやめて見守ろうということを伝える。

・【質問2】これからビオトープにやってくる可能性のある生きものについて。

⇒【回答】今やってくるトンボや鳥(カモ)の他に、他の学校に来ているゲンゴロウなどがやってくるかもしれない。

問題点・気付いた事・その他

・発表の中では、他校(末長小)との水の供給手法近隣の違いについて発表があり、オトープについて児童の理解が深いと感じた。

また、次年度は、橘小学校が創立100周年という節目の年であり、さらに100年後を見越して、橘のまちが環境に良いまちになるために、ビオトープの生きものを大切にしていけるとの発表もあり、100年後のたかつのまちのために、「エコシティたかつ」の考えが児童に浸透しつつあると感じた。



あいさつ



発表①



発表②



児童によるお礼



質疑応答①



質疑応答②